

2022年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

平和不動産株式会社への
シンジケーション形式による「サステナビリティ・リンク・ローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、平和不動産株式会社（代表執行役社長：土本 清幸）に対し、シンジケーション形式によるサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）を組成いたしました。

SLL は、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」又は「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

平和不動産株式会社は、2020 年度から 2023 年度までを計画期間とする中期経営計画において、平和不動産株式会社が目指す姿として「株主価値の向上」のみならず、街づくりに貢献する会社としてサステナブルな社会の実現への貢献を目指す「社会価値の向上」を掲げており、環境・社会課題の解決や各ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じて満足度を高めることにより、サステナブルな社会の実現に貢献するとともに企業価値の向上を図っております。サステナビリティ上の重要課題として気候変動への対策を特定し、中期経営計画において気候変動を含めた 2030 年度目標及び単年度の目標を設定の上、取り組みを推進しており、気候変動分野の中長期目標で掲げる温室効果ガス（以下、「GHG」）排出量削減を本 SLL の KPI として選定することで、平和不動産株式会社のサステナビリティ戦略の推進、更なる企業価値向上を図るものです。また、本 SLL では、SPT 達成への動機付けとして、SPT の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

（KPI）GHG 排出量（総量ベース、スコープ 1, 2）の削減
（SPT）2030 年度までに GHG 排出量（総量ベース、スコープ 1, 2）を 2018 年度比 50%削減

本 SLL は、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン 原則（2021 年 5 月改定）」及び環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2020 年版）」との適合性及び設定した目標の合理性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から「第三者意見」を取得しています。

SMBC グループでは 2021 年 7 月 27 日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会および市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本 SLL の概要（シンジケーション方式）】

契約締結日	2022 年 9 月 26 日
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
エージェント	株式会社三井住友銀行

(参考)

平和不動産株式会社ホームページ ニュースリリース一覧：

[ニュースリリース | 平和不動産株式会社 \(heiwa-net.co.jp\)](#)をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所 (JCR) による「第三者意見」の詳細：

[サステナブルファイナンス・ESG \(グリーンボンド、ソーシャルボンド\) | 日本格付研究所・JCR](#)

をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。